

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐部		消 火 栓			
	建築限界		4.7m	規格		インバート		側 壁		消 火 器		
中央高	6.15m		規格		側 壁		側 壁		給 水 栓			
	有効高		4.7m	規格		インバート		側 壁		無線通信補助装置		
高さ	0.5736%	71.3m	種類		規格		側 壁		ラジオ再放送設備			
			占 用 物 件		規格		側 壁		拡声放送設備			
直線区間長	1018.7m	150	トンネル区間		規格		側 壁		水噴霧設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		I T V			
曲線区間	450, 1200	150	トンネル区間		規格		側 壁		非常用電源設備			
			トンネル区間		規格		側 壁		非常駐車帯			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			
トンネル工法		NA T M工法	トンネル工法		トンネル工法		トンネル工法		方向転換所			

トンネル台帳

名 称		円谷トンネル		路線名		一般国道179号		管轄整備局名	中部総合事務所県土整備局			
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4) +30m		作成年月	平成23年10月			
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7) +35m付近		更新年月	※ 平成23年10月			
分割区分	トンネル等級		舗装		種 別		コンクリート舗装		施設の内訳			
	区 分	交通量(台/日)	B		厚 さ	面 積	コンクリート	路盤	非常用電話		個数	備考
一般有料区分		大型車混入率	10.9%		7695㎡		ナトリウムランプ		通報装置			
トンネル分類		壁面種類	照明		種 別	灯 数	L=50 R=47		火災検知器			
完成年次		天井種類	換気		自然・強制の別	方 式	自然換気		警報表示板			
トンネル延長	土かぶり	1090.0m	形式		アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		点 滅 灯			
			起 点	延長	アーチウイング式		W=17.4m H=9.15m L=0.7m		音信号発生器			
内空断面積		48.2㎡	坑 門		形式		延長		誘導表示板			
道路全幅	9.0m	6.5m	竣工巻厚		アーチ		側 壁		避難誘導設備			
			0.5m (左側) 0.5m (右側)		インバート		一般部、坑口部、非駐部		避難通路			
歩道等	0.75m (左側) 0.75m (右側)		半径		側 壁		一般部、坑口部、非駐					

トンネル台帳 (其の1/6)

名 称		谷谷トンネル		路線名		一般国道179号		管 轄		倉吉地方県土整備局 起点側 維持管理課	倉吉地方県土整備局 終点側 維持管理課	掘削方法	補助ベンチ式全断面掘削 上半先進ベンチカット	調査番号	NO. 3
所在地	自 至	鳥取県東伯郡三朝町若宮	距離標	自 至	県境より(41-4)+30m (43-7)+35m付近	管理者	管理費用負担率	100 %	100 %						
		鳥取県倉吉市市谷													

基本諸元				トンネル構造				諸施設一覧				トンネル非常用施設				占用物件																									
分割区画		1方向2車線(下り線)		トンネル延長	鳥取 県	1090.0	m	他地域延長	都道府県 市町村名	無し		排水施設	種 別	自然排水		通報装置	名 称	形 式	個 数	種 類	寸 法	管理者名																			
一般・有料		一般(無料)			鳥取 県		m		分割番号	無し			形式	円形水路 中央管渠			非常用電話	NTT支給品		7	上水道	無し	—																		
トンネル等級		B			合 計	1090.0	m		延長	無し			断面	左 φ200 右 φ300			押ボタン通報	I型AC100V		22		無し	—																		
トンネル分類		陸上					m		通行規制等の有無								火災検知機	無し			下水道	無し	—																		
交 通 量		平成11年度センサスより 10192台/日		最大土被り	139.0 (観測面より)	m	制限の内容				坑口保護工	起点側	抱き擁壁 もたれ式擁壁 吹付け法砕石		非常警報装置	名 称	形 式	個 数	ガス管	無し	—																				
トンネル工法		補助ベンチ式全断面掘削 上半先進・ベンチカット		内空断面積	48.2	m ²				終点側		抱き擁壁 もたれ式擁壁																													
山岳・都市の区分		都 市 部		壁面種類	覆工コンクリート (内装無し)		トンネル内部の照明施設	種 別	ナトリウムランプ			融雪施設	施設の有無	無 し								位置	—	延 長	—	面 積	—	形 式	—												
道路幾何構造		天井種類		壁面種類	横工のカーブ (内装無し)			トンネル入口部照明	配 置	向合せ配列																				灯 具	プレス型照明器具		避難誘導設備	名 称	形 式	個 数	備考				
第3種2級								トンネル基本照明	灯 数	L=25 R=25					停電用照明形式	非常電源内蔵		非常警報表示板	有	1											—										
設計速度		50 km/h		坑門形状	起点 形式	アーチウイング式 W=17.4・H=9.15 ・L=0.7		m	トンネル内部基本照明	種 別	ナトリウムランプ				停電用照明形式	非常電源内蔵																音信号発生機 補助警報表示板						無し			
法定速度		50 km/h			延長					トンネル出口部照明	配 置	千鳥配列		停電用照明形式	非常電源内蔵		非常駐車帯					電光式	1																		
直線区間		71.3 m			終点 形式	アーチウイング式 W=17.4・H=9.15 ・L=0.7		m	トンネル内部基本照明	灯 具	プレス型照明器具		延 長	—		面 積	—									形 式	—														
曲線区間		1018.7 m			延長				トンネル内部基本照明	灯 数	L=20 R=18		換気方法	起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式									—											
①		A1= 150 m R= 450 m		覆工巻厚	アーチ	40 cm		トンネル内部基本照明	停電用照明形式	非常電源内蔵		換気方法																			終点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—		
起点側		A2= 150 m			側 壁	40 cm		トンネル内部基本照明	停電用照明形式	非常電源内蔵												換気方法	起点側	方式	—															設置台数	—
②		A1= — m R= 1200 m			インバート	50 cm		トンネル内部基本照明	種 別	ナトリウムランプ																換気方法	終点側	方式	—												
中間部		A2= — m						トンネル内部基本照明	配 置	千鳥配列			換気方法	起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式									—											
③		A1= 150 m R= 350 m		半径	アーチ	4.75 m		トンネル内部基本照明	灯 具	プレス型照明器具		換気方法																			起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—		
終点側		A2= 150 m			側 壁	9.5 m		トンネル内部基本照明	灯 数	L=5 R=4 L=2 R=3 非常電源内蔵												換気方法	起点側	方式	—															設置台数	—
縦断勾配 (起点側より)		勾配 無し % 勾配 0.5736 %			インバート	12.855 m		トンネル内部基本照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB																換気方法	終点側	方式	—												
幅員構成		全幅員 9.0 m			舗装構成	種 別	コンクリート舗装		トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1		換気方法	起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式									—											
車線数		2車線		表 層		コンクリート 25 cm		トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																			起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—		
車 道		0.5 + 6.5 + 0.5		基 層		無し cm		トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1												換気方法	起点側	方式	—															設置台数	—
歩 道		0.75 m 0.75 m		路 盤		クラッシュラン 15 cm		トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1																換気方法	起点側	方式	—												
中央分離帯		無し m		面 積	7695 m ²		トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
建築限界		4.7 m		トンネル外部の照明			トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
中央高		6.15 m					トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1													換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
トンネル延長		1090.0 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
トンネル等級		B				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
トンネル分類		陸上				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
交 通 量		平成11年度センサスより 10192台/日				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
トンネル工法		補助ベンチ式全断面掘削 上半先進・ベンチカット				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
山岳・都市の区分		都 市 部				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
道路幾何構造		天井種類				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
第3種2級						トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
設計速度		50 km/h				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
法定速度		50 km/h				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
直線区間		71.3 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
曲線区間		1018.7 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
①		A1= 150 m R= 450 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
起点側		A2= 150 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
②		A1= — m R= 1200 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
中間部		A2= — m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
③		A1= 150 m R= 350 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
終点側		A2= 150 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
縦断勾配 (起点側より)		勾配 無し % 勾配 0.5736 %				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
幅員構成		全幅員 9.0 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
車線数		2車線				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
車 道		0.5 + 6.5 + 0.5				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
歩 道		0.75 m 0.75 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
中央分離帯		無し m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
建築限界		4.7 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
中央高		6.15 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
トンネル延長		1090.0 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
トンネル等級		B				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
トンネル分類		陸上				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
交 通 量		平成11年度センサスより 10192台/日				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
トンネル工法		補助ベンチ式全断面掘削 上半先進・ベンチカット				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
山岳・都市の区分		都 市 部				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
道路幾何構造		天井種類				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
第3種2級						トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
設計速度		50 km/h				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
法定速度		50 km/h				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
直線区間		71.3 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
曲線区間		1018.7 m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
①		A1= 150 m R= 450 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
起点側		A2= 150 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1														換気方法	起点側	方式	—														設置台数	—	種 別
②		A1= — m R= 1200 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB		換気方法																起点側	方式	—	設置台数												
中間部		A2= — m				トンネル外部の照明	灯 具	L=0 R=1			換気方法		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—																				
③		A1= 150 m R= 350 m				トンネル外部の照明	灯 数	L=0 R=1				換気方法																		起点側	方式	—	設置台数	—	種 別	自然換気	方式	—			
終点側		A2= 150 m				トンネル外部の照明	配 置	並 列 高圧ナトリウムランプ ポール形式 10-WB														換気方法	起点側	方式	—														設置台		

トンネル台帳 (其の2/6)

名 称		谷谷トンネル		路線名		一般国道179号		管 轄		倉吉地方果土整備局		倉吉地方果土整備局		掘削方法	補助ベンチ式断面掘削		調査番号		NO. 3	
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮		距離標	自	県境より (41-4)+30m		管理者	起点側	維持管理課		終点側	維持管理課		上先先進ベンチカット	調査年月日	平成 14 年 11 月 28 日		改定年月日	
	至	鳥取県倉吉市円谷			至	(43-7)+35 付近			管理費用負担率	100 %		100 %								

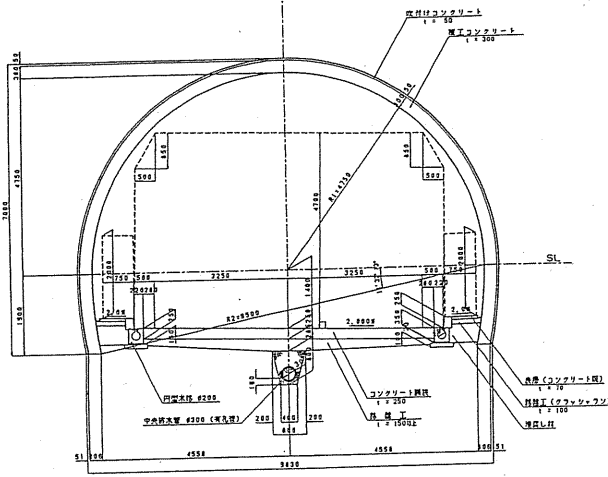
補修履歴		備考(原因等)
		2000年3月(平成12年)竣工
		2001年10月頃供用開始
		2002年12月現在補修履歴なし
		下り側2車線専用
		2004年9月警察取付点検
平成18年11月	右側照明自動消光装置交換	電力異常

位置図

トンネル台帳 (其の3/6)

名称	谷口トンネル	路線名	一般国道179号	管轄	倉吉地方県土整備局	倉吉地方県土整備局	掘削方法	補助ベンチ式全断面掘削	調査番号	NO. 3
所在地	自 鳥取県東伯郡三朝町若宮	距離標	自 県境より (41-4)+30m	管理者	維持管理課	維持管理課	掘削方法	上半先進ベンチカット	調査年月日	平成 14 年 11 月 28 日
	至 鳥取県倉吉市円谷		至 (43-7)+35 付近	管理費用負担率	100 %	100 %			改定年月日	

標準断面図(設計資料)



現場写真

起点側坑口 (三朝側)



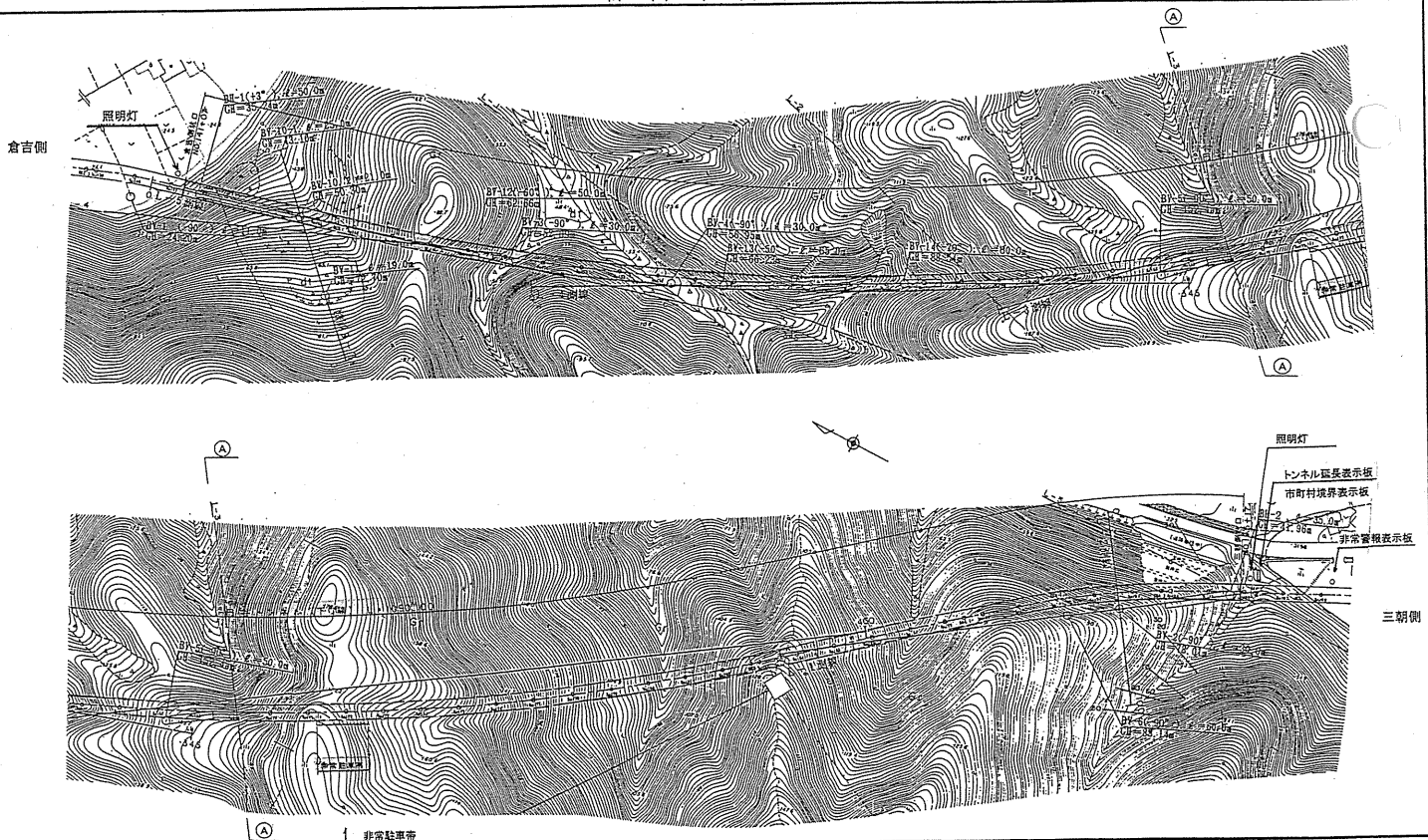
終点側坑口 (倉吉側)



トンネル台帳 (其の4/6)

名称	谷口トンネル	路線名	一般国道179号	管轄	倉吉地方県土整備局	倉吉地方県土整備局	掘削方法	補助ベンチ式全断面掘削	調査番号	NO. 3
所在地	自 鳥取県東伯郡三朝町若宮	距離標	自 県境より (41-4)+30m	管理者	維持管理課	維持管理課	掘削方法	上半先進ベンチカット	調査年月日	平成 14 年 11 月 28 日
	至 鳥取県倉吉市円谷		至 (43-7)+35 付近	管理費用負担率	100 %	100 %			改定年月日	

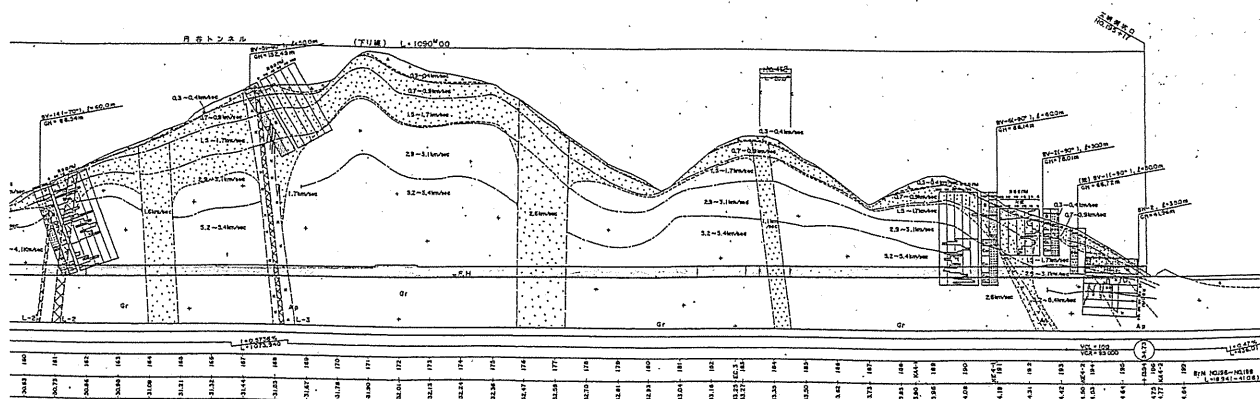
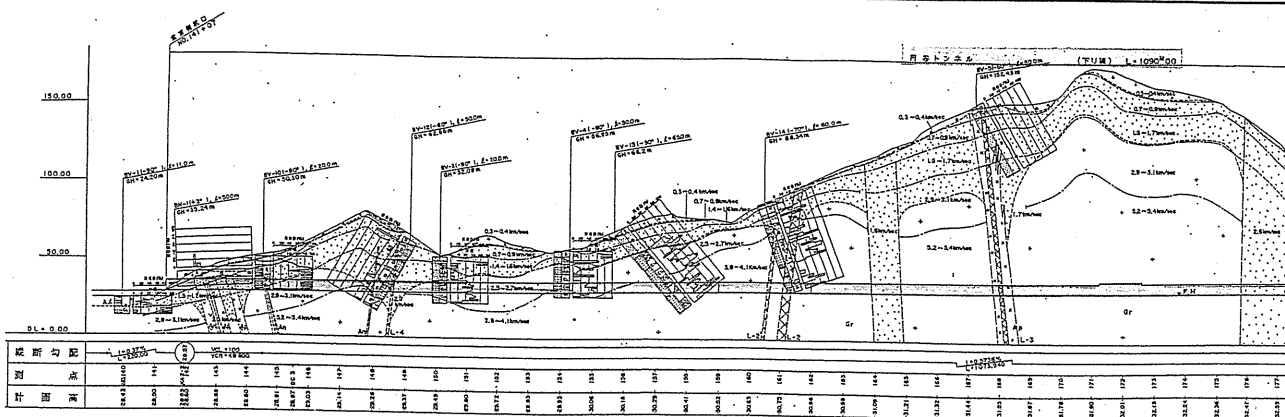
計画平面図



トンネル台帳 (其の5/6)

[illegible]

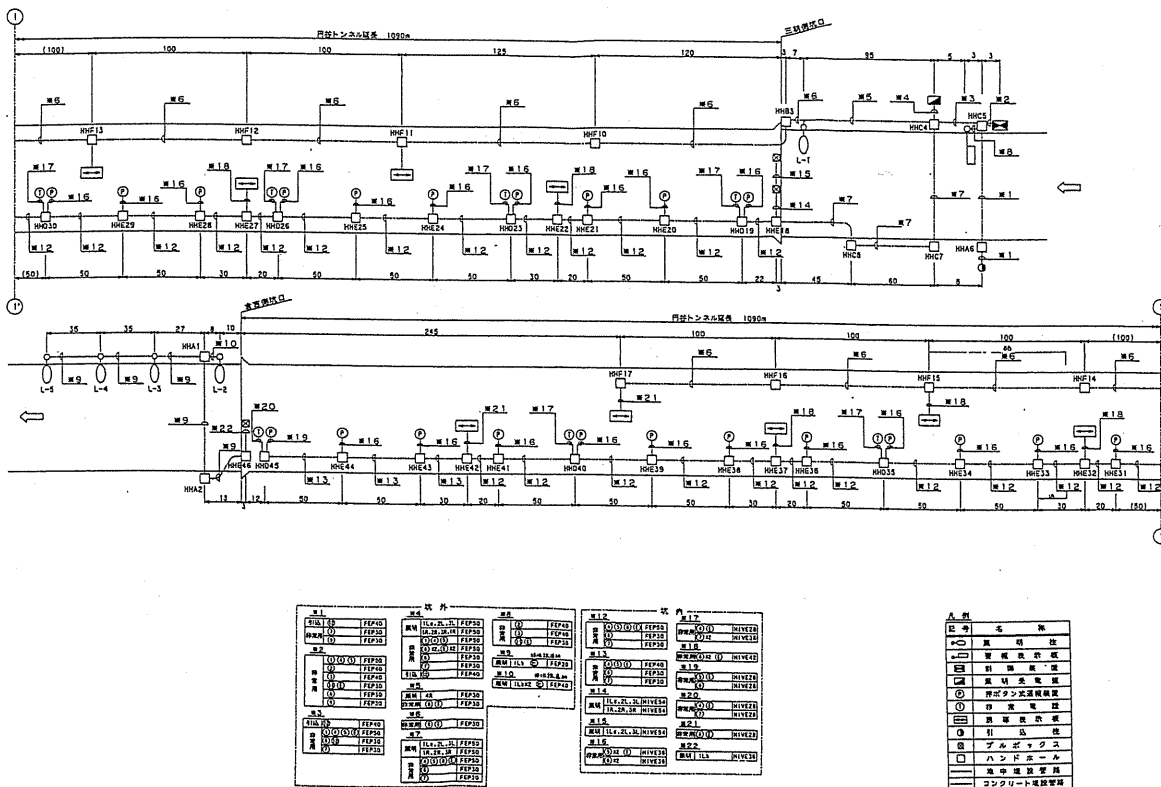
計 画 縦 断 図



トンネル台帳 (其の6/6)

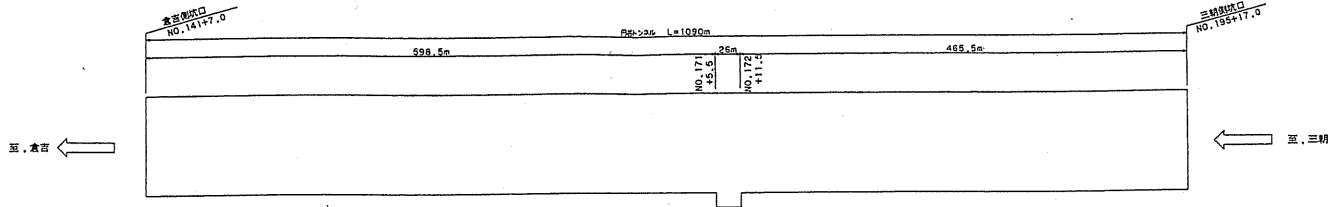
名 称		円谷トンネル	路線名	一般国道179号	管 轄	起点側	倉吉地方県土整備局	終点側	倉吉地方県土整備局	掘削方法	補助ベンチ式全断面掘削	調査番号	NO. 3
所在地	自	鳥取県東伯郡三朝町若宮	距離標	自	県境より (41-4)+30m		管理者		維持管理課		維持管理課	調査年月日	平成 14 年 11 月 28 日
	至	鳥取県倉吉市円谷		至	(43-7)+35 付近	管理費用負担率	100 %	100 %	改定年月日				

非常用設備配置図



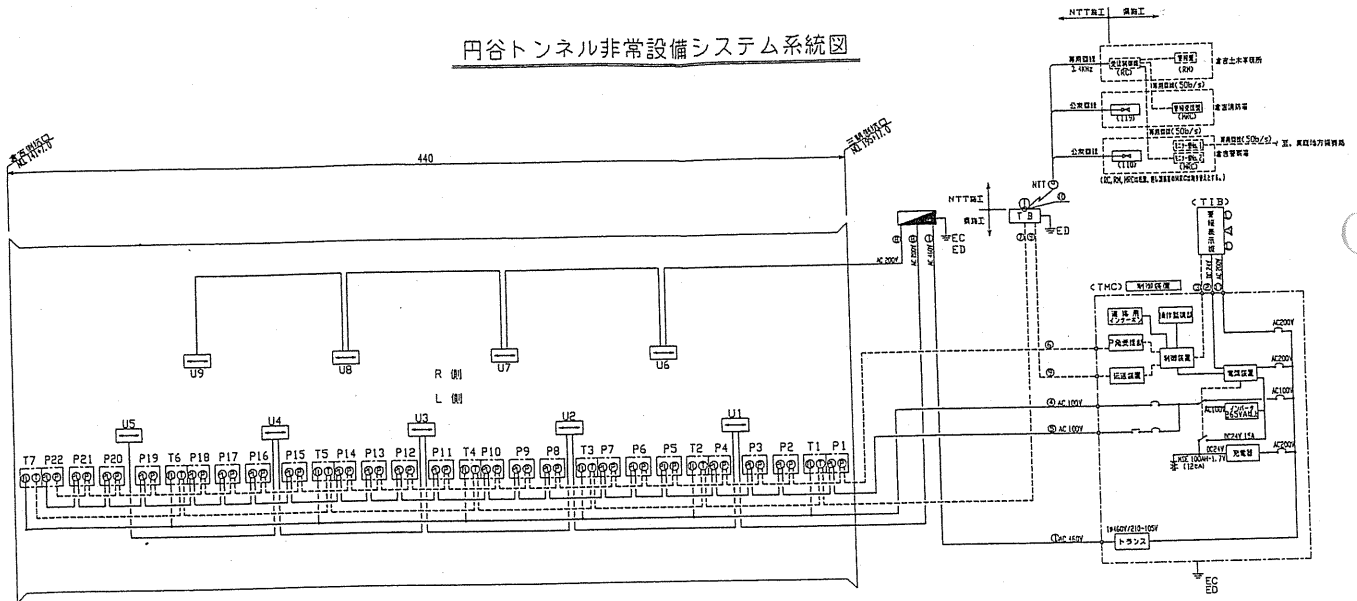
円谷トンネル（下り線）非常用設備機器割付図

名 称	箇所数	備 考						
誘導表示板（内照式）	4	○	245	200	200	200	245	
坑内ハンドホール	4	—	242	200	200	200	245	
照明立上げ配管	1	○	1087					



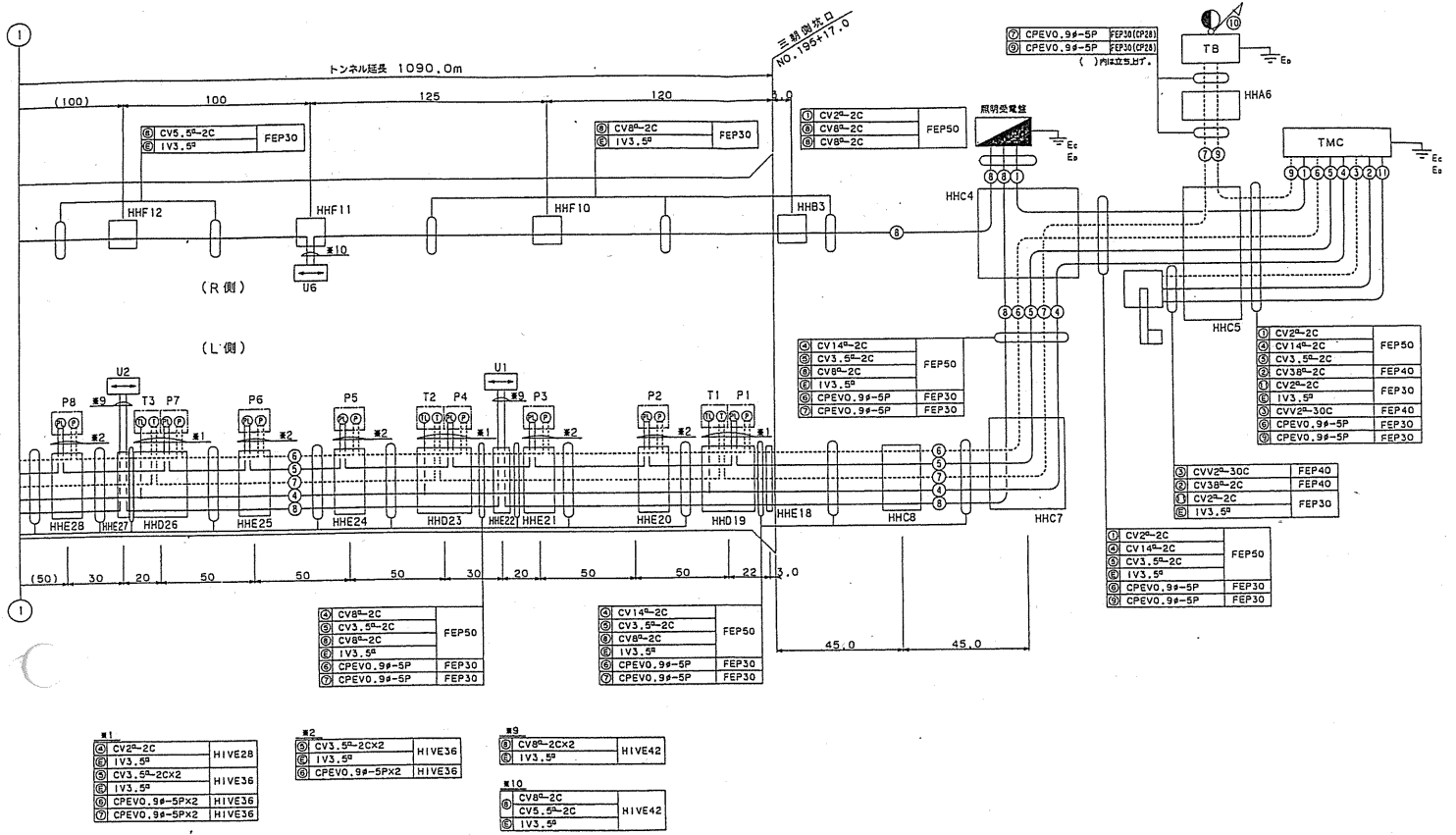
名 称		箇所数	備考		作業数量																							
非常電話	7	○	15	200				200				200				150				150				150				25
消火器	22	○	15	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	25			
押ボタン式通報装置	22	○	15	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	25			
誘導表示板（内照式）	5	○	—	145				200				200				200				200				145				—
非常警報表示板	1	—	—	—																				14				
照明立上げ配管	1	○	—	1087																				3				
坑内ハンドホール	29	—	15	50	50	30	20	50	50	30	20	50	50	30	20	50	50	30	20	50	50	30	20	50	50	22		

円谷トンネル非常設備システム系統図



名 称	記 号	使用ケーブルサイズ	設置し位置	備 考
非常電話電源	①	CV 2-2c		460V
T I B 電源	②	CV 3φ-2c		DC24V
T I B 非常電話線	③	CVV 2-30c		DC24V
非常電話表示灯電源	④	CV 1φ-2C → CV 2-2C (2線 CV 2-2C)	第1負荷	100V
赤色表示灯電源	⑤	CV 3-2C → CV 2-2C	第14負荷	100V
押ボタン回路	⑥	CPEV 0.9φ-5P		
非常電話通話線	⑦	CPEV 0.9φ-5P		
誘導表示板電源線	⑧	R線 CV 2-2C → CV 3-2C L線 CV 2-2C → CV 3-2C	第3負荷 第1負荷	200V
NTT専用線	⑨	CPEV 0.9φ-5P		
NTT通信線	⑩	変換機（引込線の引下り）		
ヒーター電源	⑪	CV 2-2c		200V

記 号	名 称	備 考
①	非常電話	NTT支給
②	非常電話表示灯	
③	押ボタン式通報装置	消火型2本内蔵
④	誘導表示板	
⑤	保安器	精研設備施工
⑥	照 明 装 置	精研設備施工
⑦	引込線	
⑧	電 源 線	
⑨	通 信 線	



トンネル台帳 (現況写真)

名称	円谷トンネル	路線名	一般国道179号	管轄	倉吉地方県土整備局	倉吉地方県土整備局	掘削方法	補助ベンチ式全断面掘削	調査番号	NO. 3
所在地	自 鳥取県東伯郡三朝町若宮 至 鳥取県倉吉市円谷	距離標	自 県境より (41-4)+30m 至 (43-7)+35 付近	管理者	維持管理課	維持管理課	掘削方法	上半先進ベンチカット	調査年月日	平成 14 年 11 月 28 日
				管理費用負担率	100 %	100 %			改定年月日	

現況写真

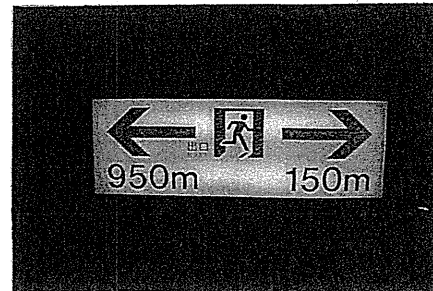
起点側坑口 (三朝側)
トンネル延長表示板・市町村境界表示板



非常電話・非常駐車帯
誘導表示板 (電光式)



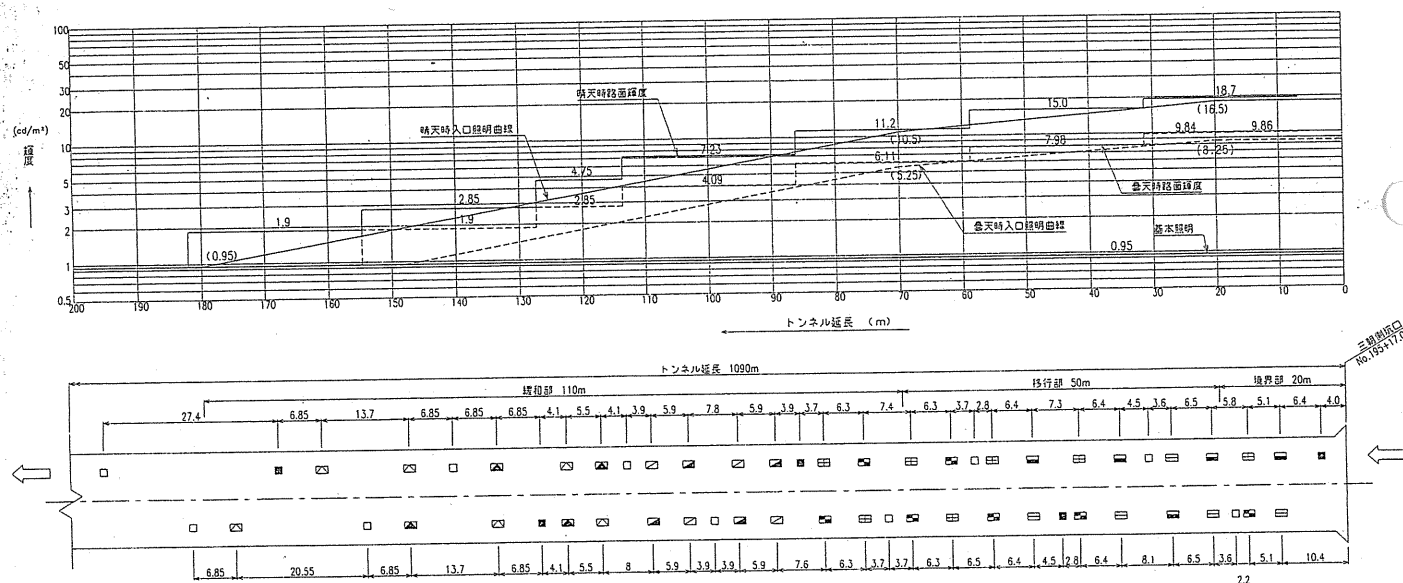
誘導表示板 (内照式)



消火器・非常電話
通報装置 (押ボタン式)



入口照明曲線及び照明器具配置図 S=1/300



設計条件

トンネル延長	1090m
野外輝度	3,000cd/m²
設計速度	50 Km/h
交通量	10,000台/年減
照明率	0.342
保守率	0.7

基本照明

	平均路面輝度 (cd/m²)	基準輝度 (cd/m²)
昼夜間時	0.95	0.95
停電時	0.25	0.24

入口照明基準

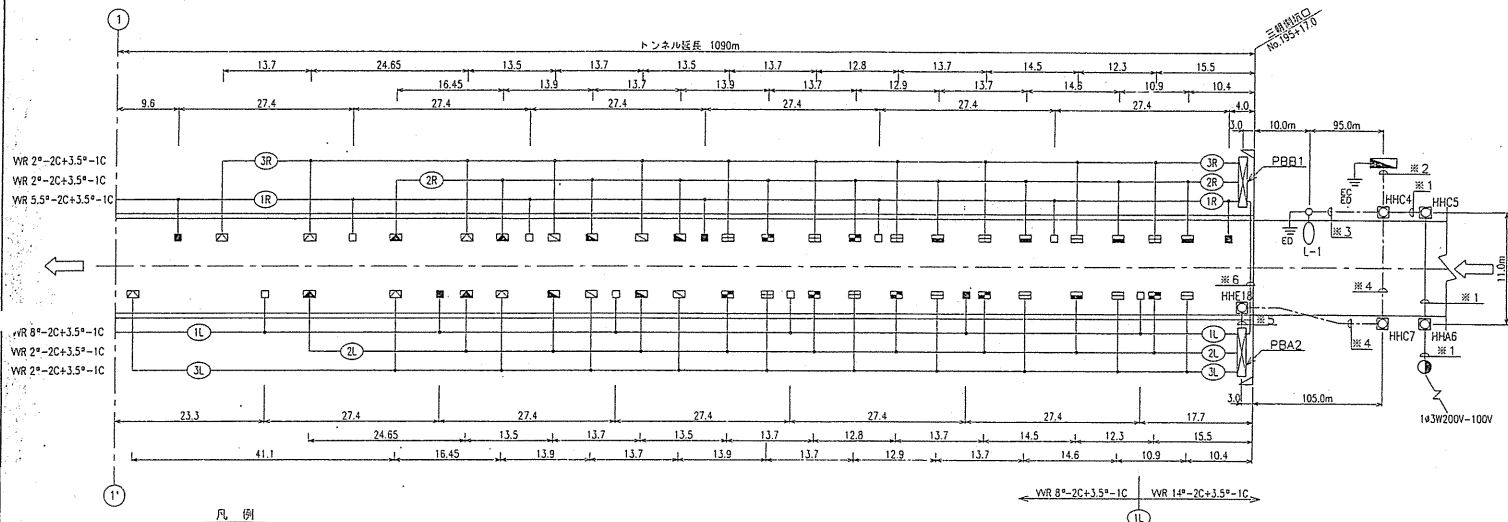
距離 (m)	入口区間			内部区間
	境界部	移行部	境界部	
20.0	15.5	10.5	0.95	910.0
50.0	8.25	5.25	0.475	—

灯数表

	基本照明		入口照明		合計
	常時灯	非常灯 (非常電灯用)	晴天灯	急天灯	
NX 35	52	27	6	4	79
NX 55			4	4	8
NX 90			7	7	14
NX 135			5	5	10
合計	52	27	22	20	

路線名	一般国道179号
道路改良工事	
図名	入口照明曲線及び照明器具配置図
位置	倉吉市円谷～東伯郡三朝町若宮
図尺	1/300 単位
図号	全 17 箇中の内、3
平成 12 年度	鳥取県
岸田電気設備株式会社	

トンネル照明配置配線図(その1) S=1/300



凡 例		記 号	数 量	備 考
NX 35	トンネル照明器具		52	基本照明 常時点灯
			27	〃 〃 (非常電源内蔵)
NX 35	トンネル照明器具		6	入口照明 晴天時点灯
			4	〃 会天時点灯
NX 55	トンネル照明器具		4	〃 晴天時点灯
			4	〃 会天時点灯
NX 90	トンネル照明器具		7	〃 晴天時点灯
			7	〃 曇天時点灯
NX135	トンネル照明器具		5	〃 晴天時点灯
			5	〃 曇天時点灯
NH110FL	環状道路照明		5	夜間時点灯
ブルボックス			3	P8A,P8B,P8C
ハンカカバー			—	
銘 明 受 皿			1	
引 込 柱			1	コンクリート柱 10m
〇 柱接地			6	
C 柱接地			EC	
FLR20	3灯用非常緊急非常照明		1	常時点灯 (非常電源内蔵)
FLR40	3灯用非常緊急非常照明		4	常時点灯 (非常電源内蔵)

※ 1		
引込	CVT 38°	FEP40

※ 2		
引込	CVT 38°	FEP40
(1L)	WR 14°-2C+3.5°-1C	FEP50
(2L)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(3L)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(1R)	WR 5.5°-2C+3.5°-1C	FEP50
(2R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(3R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(4R)	CV 2°-2C	

※3

(4R)	CV 2°-2C	FEPS30
------	----------	--------

※4 ※5

(1L)	WR 14°-2C+3.5°-1C	FEPS0 (HIVE54)
(2L)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(3L)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(1R)	WR 5.5°-2C+3.5°-1C	FEPS0 (HIVE54)
(2R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(3R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	

() 内は、※5 のものを示す。

※6

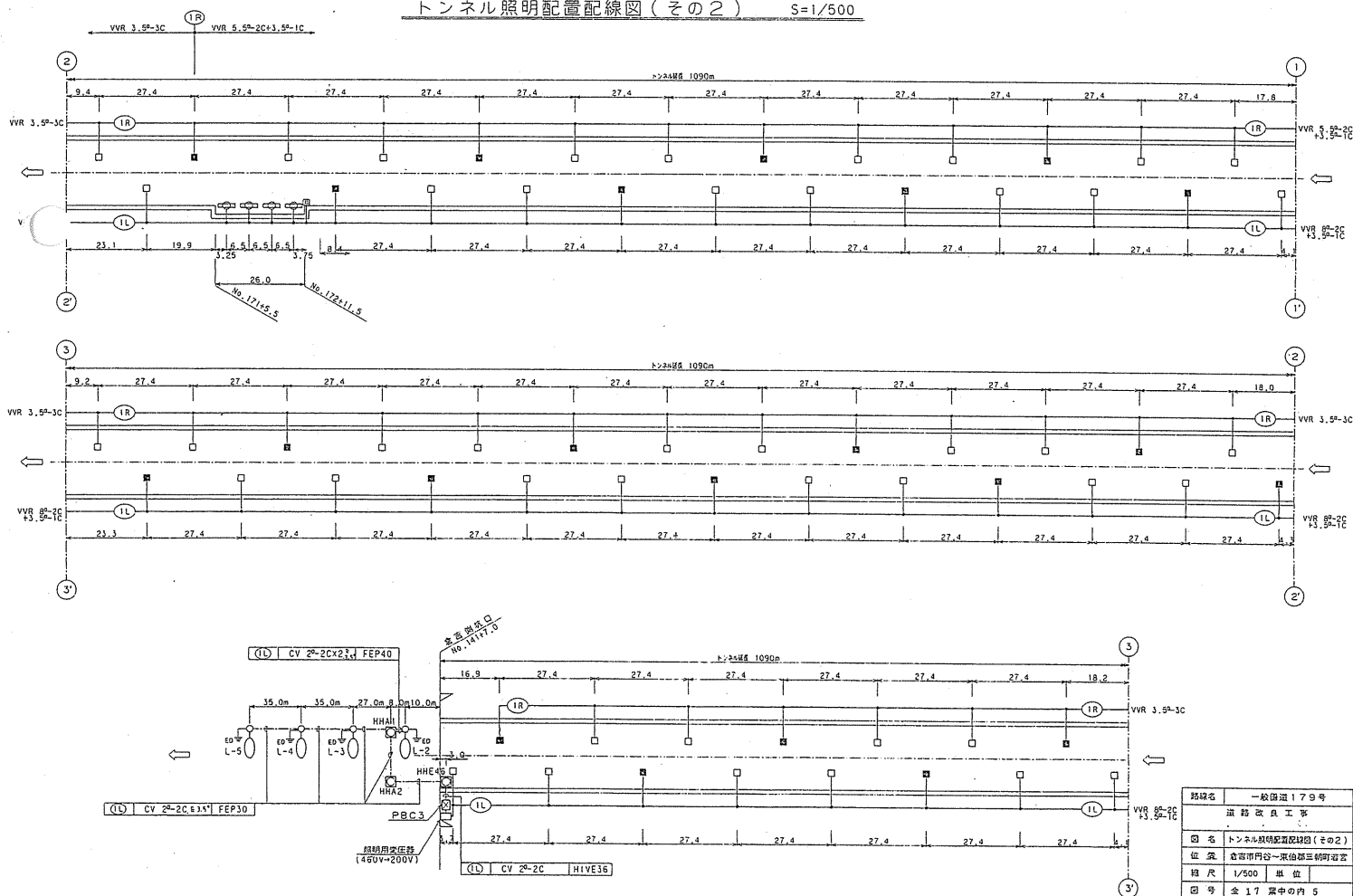
(1R)	WR 5.5°-2C+3.5°-1C	HIVE54
(2R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	
(3R)	WR 2°-2C+3.5°-1C	

記 号 表		ケーブルサイズ		備考
回路記号	名 称	線 径	配線区間	
(1L)	基本照明 常時点灯 (接続経路不明常時点灯)	WR 14"-2C+3.5°-1C	PBA2 ~ 1層目	
		WR 8"-2C+3.5°-1C CV 2°-2C	1層目 ~ 照明用圧入管 照明用圧入管～床板器具	
(2L)	入口照明 常時点灯	WR 2°-2C+3.5°-1C	PBA2 ~ 床板器具	
	入口照明 朝時点灯	WR 2°-2C+3.5°-1C	PBA2 ~ 床板器具	
(1R)	基本照明 常時点灯 (接続経路不明常時点灯)	WR 5.5°-2C+3.5°-1C WR 3.5°-3C 前記	PGB1 ~ 19層目	
			19層目 ~ 床板器具	
(2R)	入口照明 昼時点灯	WR 2°-2C+3.5°-1C	PGB1 ~ 床板器具	
(3R)	入口照明 朝時点灯	WR 2°-2C+3.5°-1C	PGB1 ~ 床板器具	
(4R)	接続経路不明 常時点灯	CV 2°-2C	—	L-1層

(注) 1.トンネル内ケーブルの内3.5^φ-1Cは接地線とする。
2.配電方式は坑内照明は1 ϕ 2W460V、道路照明は1 ϕ 2W200Vとする。

招標名	一般国道179号		
道路改良工事			
図名	トンネル照明設置試験線図(その1)		
位置	宮吉市戸谷〜栗柏郡三朝町戸吉		
幅尺	1/300	単位	m
図号	全 17 箇中の内 4		
平成 12 年度		鳥取県	
岸田電気設備有限会社			

トンネル照明配置配線図(その2) S=1/500



路線名	一般国道179号		
	道 路 改 良 工 事		
回 名	トンネル照明設置取組回(その2)		
位 置	倉吉市円谷一東伯三初町吉吉		
縮 尺	1/500	単 位	
回 号	全 17 箇中の内 5		
平成12年度	鳥取県		
岸田電気設備有限会社			